

水辺に人が集まるまちづくり～吉野川を挟んだ水際交流拡大プロジェクト～(その2) (徳島県徳島市・鳴門市・北島町・松茂町・藍住町)

昭和初期までの主要航路「撫養(むや)航路」を復活させ、その両端で朝市を同時開催するなどの工夫により阿波踊り期以外低迷する観光客を定常的に呼び込むとともに、地場産品の振興や河川美化への市民の関心の惹起を図り、観光・産業振興・環境に複合的に取り組む「水の都」の再生を図る。



沿川での観光体験プログラムの展開



鳴門市・徳島市での朝市との連携



撫養航路



平成21年度の主な取組

- ① 撫養航路の実験運航を通じて自立的な運営スキームを確立。
- ② 撫養航路と各地の朝市との連携体制の構築。
- ③ 沿川各地との広域的な連携による体験ツアープログラムの企画・試行。

平成22年度以降の展開

撫養航路の定期運航を自立的に行うとともに、体験ツアープログラムの充実、航路周辺各地での朝市ネットワークの拡大、新規航路の開拓、航路の清掃・美化活動との連携を行うことにより、観光交流人口の拡大や河川美化等を進め、「水の都」の活性化を実現する。